

## 会議録

日 時	令和2年1月16日(木) 午後6時30分から午後8時10分
会 場	市役所1階 多目的室1
出席委員	本橋委員長、山口委員、古木委員、橋本委員、中田委員、高松委員、藤崎委員、外崎委員
欠席委員	櫻井委員、安藝委員
市出席者	吉田課長、山田主査、松下主事、古内主事、南主事

## ■開会(午後6時30分)

## ■社会教育委員長あいさつ

## ■報告事項

(1) 石狩管内市町村社会教育委員等研修会について

委 員：口頭及び資料に基づき報告。

委 員 長：質問等ありますか。では、次にいきます。

(2) 石狩管内社会教育共同事業「フォーラム石狩」について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：パネリストの安田さんは、昨年度、留寿都村で開催された北海道社会教育研究大会でも事例発表をされていました。非常に積極的な活動をされている方です。皆さんも研究会等にはできるだけご参加いただければと思います。

続きまして、協議事項に入ります。

## ■協議事項

(1) 公民館事業について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：ここまでの説明でなにか質問等ありますか。平成29年度に公民館に関する答申をまとめておりまして、その中で公民館事業について、引き続き議論していくとしております。検討に至る経緯、実施期間、場所、体制、内容、当市の教育基本計画ここまではよろしいでしょうか。

それでは、実施する事業を選定に入ります。事業毎の説明をお願いいたします。

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：質問等ありますか。

委 員：色々考えて作成されたのだと思います。一気に全部実施するという事は可能ですか。

事 務 局：予算が確定していないということもあり、まずはご意見いただいた上で考えていければと思います。

委 員：期間的にも全部実施ということにはならないかと思います。まずは何かやってみるという姿勢が大切かと思います。

事 務 局：公民館事業の考え方の話をさせていただきますと、生涯学習振興会が各地区で多くの事業をしている中で、社会教育の拠点施設としての中央公民館が果たすべき役割というのは、ひとつづくりになります。もっと言うと継続的な学びです。

公民館事業で学んだ方が今度は地区の生涯学習振興会に持って帰って、さらにそこから発展していく。このように広がる視点を持って公民館から発信していくことがひ

## 会議録

とつの役割だと思しますので、ひとづくり・継続的な学びという視点を念頭に置いてご意見いただければと思います。

委員長：ひとづくり、継続的、広がりというキーワードをいただきました。参考にさせていただきます。

委員：継続性を考えますと、それぞれやり方によっては継続できるかなと思います。中央公民館は全市的な施設ということではありますが、地区をじゅんぐり回って実施すると単発ではなく、継続的に実施することができると思います。

委員：全市的な事業を中央公民館で実施するとすると、高齢者に対してバスを出したりできるのでしょうか。

事務局：各地区の生涯学習振興会において、既に多くの事業が実施されていますので、中央公民館まで自分の力で来る、意欲を持って遠方から学びにくる。という考え方をベースにした方が良いかと思います。良い事業であればそれは可能だと思っています。

委員：ありがとうございます。テーマ1、防災教室に関して言えば危機管理課さんが各所でされますし、生涯学習振興会の事業でも防災に関しては実施していますので、あえて全市的に公民館事業として実施する必要はないのではと思います。

ボールパーク開業に係るソフト面のおもてなしについては、良いと思います。世界遺産の関係も当市と上手く絡めてできるのであれば良いと思います。

個人的には、最近、千歳市で人口が増えてきているそうですが、それがなぜなのかを勉強してみたいなと思います。

委員：広がりや継続性は大事だと思います。とにかくやる。実施しながらまた反省、改善していけばいい話ですから、まずやってみることが大切だと考えます。

委員：防災については、町内会や自治会でやってはいるが、全市的な取り組みはあまり進んでいないと思います。このことから、公民館事業としての防災教室は意義のあることだと思います。

事務局：自分たちのまち、地域はどんな災害のリスクがあるかを学べる機会があると良いと思います。根底にあるのは地域を知ることと、人を知ることが防災意識を高める上でのキーワードかも知れません。

委員長：防災教室と言えば自治体単位や地域単位と局地的な内容というイメージですが、地球温暖化による気候変動、環境変化という勉強も必要かも知れません。

委員：色んな団体と横のつながりを持ち、情報を共有しながら進めていけると良いですね。社会教育法第22条に「公民館は、図書、記録、模型等を備え・・・」とありますが、中央公民館には図書もあるのでしょうか。

事務局：現在、中央公民館にはありません。駅前に図書館ができたからです。それ以前は中央公民館内にありました。

委員：であれば、中央公民館と図書館が連携して何かすることも考えられるかなと思いました。

委員：継続という話が出ましたけれども、テーマごとに実施してはどうかと思います。例えば来年度にテーマ1、その次の年にテーマ2というように大きく東ねて、その中で

## 会議録

---

実施していくというのもありかと思います。この中から5つに絞るのは難しく、好みになりかねないので。

委員：事業と事業の掛け合わせができそうだと思います。例えば、きたひろ地元学のフィールドワークで外に出て、疲れたら健康づくりの簡単な体操をやるとか。災害時でもできる料理として、防災教室と食を絡めてみたり、防災とスマホを掛けてみたり、掛け合わせてできることが他にもあると思います。

委員長：事務局の方々からもぜひお願いいたします。

事務局：継続性の観点で、参加者が一回きりではなく、複数回参加してもらえるような事業の組み方ができれば良いかと思います。

事務局：防災とアウトドアは近いものがあると思います。防災と聞くと若い人は行きづらいイメージですが、例えば「外でも食べられるごはん」「電気を使わないごはん」というネーミングであれば中央公民館に集まって学んでみようと思うのではないかと考えます。

事務局：子ども向けの事業が少ない印象があります。長期休業期間を利用した子ども向け事業があっても良いのかなと思います。

委員長：ひと通りご意見をいただきましたが、なかなか決めるのは大変ですね。かと言ってまた会議を開くのも難しいので、先ほど事務局から提案のあった検討委員と事務局で今出された意見を集約してまとめていく方向でよろしいでしょうか。

委員一同：同意

委員長：次に当事業の総合名称ですが、こちらもご意見いただければと思います。

事務局：ここで何か決めるというよりは、このような感じならインパクトあるよね。くらいでよろしいかと思います。

委員：まちづくりカレッジ的な、少し片仮名があった方が良いと思います。あとは愛称みたいなものができればいいですね。

事務局：講座や塾というワードがあると座学で固いイメージがありますね。いまの若い世代はひとりで行動できない人多いので、友だちを誘っていけるような感じだと参加しやすいと思います。

事務局：小学校3年生くらいの子が聞いてわかるようなフレーズが良いと思います。

委員長：とりあえず、今思いつく名称を書いていただいて、今日以降思いついた名称があれば随時事務局にお知らせください。公民館事業の選定については、掛け合わせたり、ネーミングを工夫してみたりしながら引き続き検討していきます。

総合名称につきましては、1月31日までに思いつきましたら事務局にお知らせください。また、講師について、自ら務めていただける方がいましたらありがたいですし、講師の心当たりがありましたらお知らせください。

これで本日の議題が終わりました。たくさんのご意見いただき、有意義な会議となりました。ありがとうございました。

会議録署名委員

---